# からきだ菖蒲館

しょうぶかん

ハロー From Shobukan

第７９号

新春号

発行：2023 年 1 月 3 日 （隔月発行）　No.079
唐木田コミュニティセンター運営協議会　編集：広報部会
公式ホームページ：https://karakida.org/
メールアドレス：info@karakida.org

## 寿徳寺について　尼寺の痕跡 ②　番外編

### 多摩の歴史さんぽ(36)　橋場万里子

前回紹介した関戸の熊慶寺の本寺である「寿徳寺」は、今後紹介する複数の尼寺の本寺でもあります。今回はこの寿徳寺についてみてみましょう。

寿徳寺は多摩市内で最も古い曹洞宗のお寺です。明徳元年(1390)に真言宗の僧侶・念阿によって設けられた庵が前身で、天文 10 年(1541)に佐伯氏により再興されたと伝えられます。寿徳寺の住所「多摩市桜ケ丘」はかつての寺方村域でもあり、「寺方」という村名も、寿徳寺の存在から来ているという説があります。

寿徳寺の歴史の古さは、檀家の分布からも推測できます。檀家には四ツ谷・中河原・分倍・下川原といった現在の府中市域の地域が含まれています。これは、多摩川が現在よりもはるか北側を流れていた時代に陸続きだった地域の住民が檀家となったためと考えられます。多摩川の流路は江戸時代初期に南側に変わるので、檀家の分布は江戸時代以前の状況を反映していると考えられるのです。

寿徳寺には大福寺・高西寺・観蔵院・東醫庵・熊慶寺・龍泉寺・東光寺・一放庵という 8 つの末寺があり、現在も寺

寿徳寺檀家周辺地図(『消えた寺が語るもの』より)

寿徳寺

院として残っているのは、大福寺・高西寺・観蔵院・東光寺の 4 つです。大福寺は文禄 4 年(1595)、高西寺は慶長 4 年(1599)に寿徳寺の和尚により中興開山されたと伝えられていることから寿徳寺の存在が江戸以前に遡ることが確認できます。寿徳寺は元禄 16 年・天保元年・明治 38 年の 3 度焼失しています。明治 38 年の火災ではしばらく観音堂に仮住まいをし、再建できたのは 55 年後の昭和 35 年(1960)のことでした。

寿徳寺の再建には桜が丘団地の建設も関係しています。広大な敷地を所有していた寿徳寺が土地を提供したことにより、再建のための資金が整いました。なお、末寺の東光寺も多摩ニュータウン開発により墓地需要が増え、資金が好転し、再建することができたと伝えられています。住宅開発は寺院のあり方にも影響を与えたことがわかります。

寿徳寺の歴史からは、多摩川流路の変遷や住宅開発といった出来事が垣間見え、地域の変化と寺院のあゆみが密接な関係を持っていることがわかるのです。


参考文献：パルテノン多摩 2012『消えた寺が語るもの～多摩市の廃寺と寿徳寺の周辺～』



筆者紹介：橋場万里子(はしば まりこ)
パルテノン多摩(公益財団法人多摩市文化振興財団)学芸員。東京都立大学、東京医療学院大学非常勤講師。


## 再生・活性化に動き始めた多摩ニュータウン

### 多摩ニュータウン物語(4)　上野　淳

約半世紀をかけて創ってきた多摩ニュータウン（以下：多摩ＮＴ）ですが、今後半世紀以上をかけて再生・活性化を目指していくべき街でもあります。

この「からきだ菖蒲館」利用者の皆さんの地域、「落合・鶴牧」は未だ新しい街ですが、1970 年代初頭に初期入居が実現した「諏訪・永山」を始めとして、住宅の老朽化、住民の高齢化が目立ち始めている地域もあります。こうした地域では高齢化率が 50％を超えた街区もあり、住宅施設も、断熱性能の不足、設備の老朽化などの課題が顕在化し始めています。多摩ＮＴ全体の道路や上下水道のインフラは健全ですし、緑豊かな環境は我ら居住者が誇りうる美点ですが、こうした課題を克服していくことは多摩ＮＴに限らず我が国普遍の課題と言えます。この意味で、この街が如何に活力ある魅力的な街として再生していけるかを示すことが、我が国の将来に在るべきモデルを提示することになると想うのです。

前稿でも触れましたが、ＵＲ都市機構の分譲諏訪２丁目団地は、2013 年に大規模な建て替えを実現しました。5 階建23棟640戸が11階建7棟全1,249戸に生まれ変わりました。ほぼ倍の住戸数になった訳ですが、新しい住民も移り住んできて、若い街に再生しました。我が国でも最大級の団地再生プロジェクトです。

旧中諏訪小グランドに建設された都営住宅棟

これに加えて、諏訪地区を中心に都営住宅の更新・建て替えプロジェクトも進行しています。諏訪都営団地約 1,500 戸が対象になっていますが、2019 年に旧西永山中校舎跡地に 223 戸、2021 年に旧中諏訪小グランド跡地に 210 戸の再入居が既に実現しています。多摩ＮＴの団地建て替えの特徴として、児童生徒数減少の結果廃校になった学校跡地に団地建て替えが実現していることが挙げられます。こうして住民は建て替えに先立って一時移転をしないで済むという利点があります。

こうした大規模な団地建て替えの他、住民自身の努力による個別住戸のリノベーションの試みも活発になっています。多摩ＮＴでこうしたリノベーションに貢献している若い建築家の存在は好ましいものです。

住宅更新の動きとは別に、多摩南部尾根幹線道路の再整備の工事が始まり、加えて、リニア新幹線の橋本駅開業や多摩モノレールの延伸も検討されています。

この街が、この先半世紀以上をかけて更に発展していくことを心より願い、期待したいと想います。　（了）


筆者紹介：上野　淳(うえの じゅん)
東京都立大学名誉教授・工博。前学長。専門は建築計画・地域計画。多摩市在住 30 年。著書に‘多摩ニュータウン物語’など。



暮らしに寄り添うかかりつけ医
あいクリニック中沢
外来　内科・もの忘れ外来
訪問診療　24時間365日対応
初診Web予約可能
042-311-2820(代表) 多摩市中沢2-5-3 ゆいま～る中沢A棟1階

土日祝も開園
完全予約制
CoCoプレイス保育室
6ヶ月～未就学児童
042-400-6975
〒206-0033 東京都多摩市落合 1-46-1 ココリア多摩センター 7階

株式会社 麻生徽章
TEL. 042(374)0330(代)
FAX. 042（374）0477
〒206-0033 東京都多摩市落合６丁目９番地１
E-mail:prize@asou-kisyo.jp
営業品目
バッジ・メダル　カップ・トロフィー　キーホルダー・タイ止め・ストラップ
校旗・社旗・会旗・優勝旗・懸垂幕・横断幕・のぼり・腕章・ワッペン
看板（室内サイン・屋外アートサイン／デザイン設計 施工）
東京都知事許可 一般建設業（般－23）第126872号
●その他 各種記念品、特注品も承ります。☆ご用命を心よりお待ち申し上げます。
http://prize.asou-kisyo.jp/

東急自動車学校
多摩市唐木田3-6
tel.042-372-0109
www.109n.jp